

--

数学解答紙 [その1]

--	--	--	--	--	--

1

評点欄

1

(1)  $\overline{BC} \perp \overline{OA}$  より  $\overline{BC} \cdot \overline{OA} = 0$  よって  $(\overline{OC} - \overline{OB}) \cdot \overline{OA} = 0$

$(\frac{1}{4}\vec{a} - \vec{b}) \cdot \vec{a} = 0$  より  $\frac{1}{4}|\vec{a}|^2 - \vec{a} \cdot \vec{b} = 0$

したがって  $\vec{a} \cdot \vec{b} = \frac{1}{4}|\vec{a}|^2 = \frac{1}{4} \cdot 16 = 4 \dots \text{答}$

(2)  $\overline{OD} = s\vec{a} + t\vec{b}$  とすると, 点 D は直線 AB 上の点なので  $s + t = 1 \dots \text{①}$

また,  $\overline{OD} \perp \overline{AB}$  より  $\overline{OD} \cdot \overline{AB} = 0$

$\overline{OD} \cdot (\overline{OB} - \overline{OA}) = 0$

$(s\vec{a} + t\vec{b}) \cdot (\vec{b} - \vec{a}) = 0$

$s\vec{a} \cdot \vec{b} - s|\vec{a}|^2 + t|\vec{b}|^2 - t\vec{a} \cdot \vec{b} = 0$

$4s - 16s + 2t - 4t = 0$

整理すると  $6s + t = 0 \dots \text{②}$

①, ② を解くと  $s = -\frac{1}{5}, t = \frac{6}{5} \dots \text{答}$

したがって,  $\overline{OD} = -\frac{1}{5}\vec{a} + \frac{6}{5}\vec{b}$  より

$|\overline{OD}|^2 = (\frac{1}{5})^2 |-\vec{a} + 6\vec{b}|^2 = \frac{1}{25} (|\vec{a}|^2 - 12\vec{a} \cdot \vec{b} + 36|\vec{b}|^2) = \frac{1}{25} (16 - 12 \cdot 4 + 36 \cdot 2) = \frac{8}{5}$

$|\overline{OD}| > 0$  なので  $|\overline{OD}| = \sqrt{\frac{8}{5}} = \frac{2\sqrt{10}}{5} \dots \text{答}$

(3) 3点 O, D, P は同一直線上の点なので, 実数 k を用いて  $\overline{OP} = k\overline{OD}$  と表せる。

よって,  $\overline{OP} = k(-\frac{1}{5}\vec{a} + \frac{6}{5}\vec{b}) = -\frac{1}{5}k\vec{a} + \frac{6}{5}k\vec{b} \dots \text{③}$

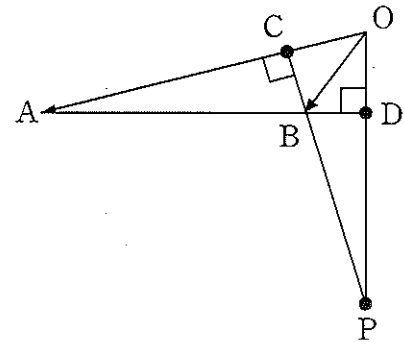
また, 3点 C, B, P は同一直線上の点なので, 実数 l を用いて  $\overline{CP} = l\overline{CB}$  と表せる。

よって,  $\overline{OP} - \overline{OC} = l(\overline{OB} - \overline{OC})$  より  $\overline{OP} = l\overline{OB} + (1-l)\overline{OC} = \frac{1}{4}(1-l)\vec{a} + l\vec{b} \dots \text{④}$

$\vec{a}$  と  $\vec{b}$  は一次独立なので, ③, ④ より

$-\frac{1}{5}k = \frac{1}{4}(1-l), \frac{6}{5}k = l$  より, これを解くと  $k = \frac{5}{2}, l = 3$

よって,  $\overline{OP} = \frac{5}{2}\overline{OD}$  より  $|\overline{OP}| = \frac{5}{2}|\overline{OD}| = \frac{5}{2} \cdot \frac{2\sqrt{10}}{5} = \sqrt{10} \dots \text{答}$



氏名

--

数学解答紙 [その2]

受験番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2

評点欄

2
---

- 出た目が奇数  $a$  とき、 $x$  軸の正の向きに 1 だけ動く事象を  $A$
- 出た目が 2 または 4  $a$  とき、 $x$  軸の負の向きに 1 だけ動く事象を  $B$
- 出た目が  $6a$  とき、 $y$  軸の正の向きに 1 だけ動く事象を  $C$  とおく。

(1). さしこを  $n$  回投げて、点  $P_a$  座標が  $(1, n-1)$  となるとき。  
 $n$  回中  $A$  が 1 回  $C$  が  $n-1$  回起こる。  
 $nC \times 3 = 3n$   
 $\therefore 3n$  通り //

(2). さしこを  $n$  回投げて、点  $P_a$  座標が  $(0, n-2)$  となるとき。  
 $n$  回中  $A$  が 1 回、 $B$  が 1 回、 $C$  が  $n-2$  回起こる。  
 $\frac{n!}{(n-2)!} \times 3 \times 2 = 6n(n-1)$   
 $\therefore 6n(n-1)$  通り //

(3). さしこを  $n$  回投げて。  
 点  $P_a$   $x$  座標が 0 以上かつ  $y$  座標が  $n-2$  以上となるとき。  
 求  $a$  4 通りに分けらる。  
 i).  $n$  回中  $n$  回  $C$  (1 通り)  
 ii).  $n$  回中  $A$  が 1 回、 $C$  が  $n-1$  回  
 (1) 例  $3n$  通り  
 iii).  $n$  回中  $A$  が 1 回、 $B$  が 1 回、 $C$  が  $(n-2)$  回  
 (2) 例  $6n(n-1)$  通り  
 iv).  $n$  回中  $A$  が 2 回  $C$  が  $(n-2)$  回  
 $nC \times 3^2 = \frac{9}{2}n(n-1)$  通り  
 (1) 例  $i) \sim iv)$  例  
 $1 + 3n + 6n(n-1) + \frac{9}{2}n(n-1)$   
 $= \frac{21}{2}n^2 - \frac{15}{2}n + 1$   
 $\therefore \frac{21}{2}n^2 - \frac{15}{2}n + 1$  通り //

氏名

数学解答紙 [その3]

受験番号

評点欄

3
---

3 (1).  $f(x) = e^{\sqrt{x}}$ ,  $g(x) = kx$  とすると

$f(x)$  の定義域は  $x \geq 0$  である。

$$f'(x) = \frac{1}{2\sqrt{x}} e^{\sqrt{x}}, \quad g'(x) = k.$$

点  $P$  の  $x$  座標を  $t$  とすると、

$t \geq 0$  である。

$$\begin{cases} f(t) = g(t) \\ f'(t) = g'(t) \end{cases} \iff \begin{cases} e^{\sqrt{t}} = kt \\ \frac{1}{2\sqrt{t}} e^{\sqrt{t}} = k \end{cases}$$

この連立を解くと、 $t = 4, k = \frac{e^2}{4}$

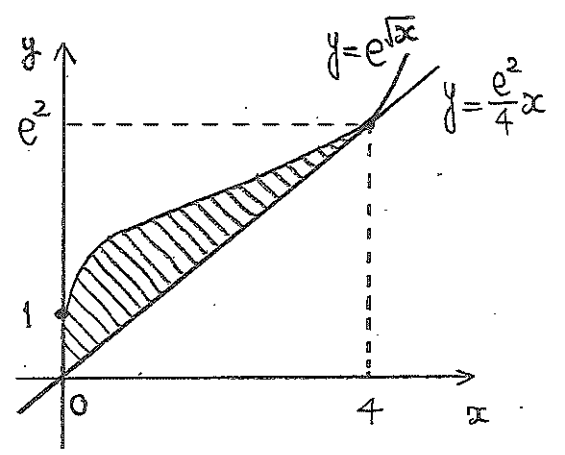
$$\therefore k = \frac{e^2}{4}, \quad P(4, e^2)$$

(2).  $f'(x) = \frac{1}{2\sqrt{x}} e^{\sqrt{x}} > 0$ .

よって、 $f(x)$  は単調に増加する。

また、 $\lim_{x \rightarrow \infty} f(x) = \infty$

曲線と直線の概形は次のように描く。



$0 \leq x \leq 4$  で、 $e^{\sqrt{x}} \geq \frac{e^2}{4}x$  となる。

求める面積を  $S$  とすると、

$$S = \int_0^4 e^{\sqrt{x}} dx - \frac{1}{2} \cdot 4 \cdot e^2$$

ここで、 $t = \sqrt{x}$  とおくと

$$t^2 = x \quad \text{より}$$

$$dx = 2t dt$$

$x$	$0 \rightarrow 4$
$t$	$0 \rightarrow 2$

$$\therefore S = \int_0^2 e^t \cdot 2t dt - 2e^2$$

$$= [2t \cdot e^t]_0^2 - \int_0^2 2e^t dt - 2e^2$$

$$= 4e^2 - [2e^t]_0^2 - 2e^2$$

$$= 4e^2 - (2e^2 - 2) - 2e^2$$

$$= 2$$

∴ 求める面積は、2

--

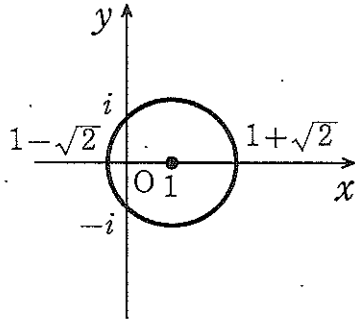
--	--	--	--	--	--

4

評点欄

4

(1) ①を満たす点  $z$  の全体は、中心  $1$ 、半径  $\sqrt{2}$  の円を表す。(図は下図)



②を満たす点  $z$  は中心  $\alpha$ 、半径  $\sqrt{5}$  の円周上にある。

2つの円の中心間の距離は  $|\alpha - 1|$  であり、 $|\alpha| = 2$  であるから、 $\alpha = 2(\cos\theta + i\sin\theta)$  と

おくと、 $|\alpha - 1|^2 = (2\cos\theta - 1)^2 + (2\sin\theta)^2 = 5 - 4\cos\theta$  となるので、 $1 \leq |\alpha - 1| \leq 3$

よって  $\sqrt{5} - \sqrt{2} < |\alpha - 1| < \sqrt{5} + \sqrt{2}$  となり、2円は共有点を2個もつ。

よって①、②を満たす複素数  $z$  の個数は2個である。

(2) ①より  $|z - 1|^2 = 2$  これより  $(z - 1)(\bar{z} - 1) = 2 \therefore z\bar{z} - \bar{z} - z - 1 = 0 \dots \textcircled{3}$

同様に②より  $z\bar{z} - \alpha\bar{z} - \bar{\alpha}z - 1 = 0 \dots \textcircled{4}$

③ - ④より  $\bar{z}(\alpha - 1) + z(\bar{\alpha} - 1) = 0$

(3) (2)より  $\beta, \gamma$  は  $\bar{z}(\alpha - 1) + z(\bar{\alpha} - 1) = 0 \dots \textcircled{5}$  が表す図形上にある。

$w = z(\bar{\alpha} - 1)$  とおくと、⑤より  $\bar{w} + w = 0$  となるので、 $w$  は虚軸上にある。

よって  $w = ki$  ( $k$  は実数) とおける。

このとき  $z = k \frac{i}{\alpha - 1}$  となるので、 $z$  は原点を通る直線上にある。

これより、 $B, C, O$  は一直線上にある。

(別解) ⑤において  $z = x + yi, \alpha = a + bi$  とおくと

$$(x - yi)(a + bi - 1) + (x + yi)(a - bi - 1) = 0$$

$$2(a - 1)x + 2by = 0 \quad \text{つまり} \quad (a - 1)x + by = 0$$

この直線は原点を通るので、 $B, C, O$  は一直線上にある。

ここで①の円は  $i, -i$  を通るので、これらを

$D, E$  とおくと、方べきの定理より

$$OB \times OC = OD \times OE$$

$$b \times |r| = 1 \times 1$$

$$\therefore |r| = \frac{1}{b}$$

